

## ククレ水力発電計画[スリランカ]

政策所管局課 有償資金協力課

評価年月日 平成 17 年 3 月

(1) 案件概要	
(イ) 目的	コロンボ南東約70kmに位置するカル河支流ククレ川に、総出力70MWの調整池付き流れ込み式発電所及び関連設備を建設することにより、逼迫が予想される電力需給に対応する。
(ロ) 手段	(a) 取水堰及び導水路建設 (b) 地下式発電所建設(35MW×2基) (c) 送電線(132KV)建設 (d) エンジニアリング・サービス
(ハ) 交換公文締結日	1994年6月23日
(ニ) 貸付契約締結日	1994年7月4日
(ホ) 供与限度額	212億2,700万円
(ヘ) 金利	2.60%
(ト) 償還期間(据置期間)	30(10)年
(チ) 借入人	スリランカ民主社会共和国政府
(リ) 事業実施機関	セイロン電力庁
(2) 経緯・現状	地質構造の問題による安全性確保の観点から、工事を一時中止した結果、遅延が生じたが、既に工事は完了している。
(3) 評価・今後の対応方針	貸付を継続し、早期に完了する。
(4) 参考資料	交換公文、国際協力銀行から提供された資料等(本案件の概要に関しては、海外経済協力基金年次報告書1995年版151ページ参照。)

## ティウィ地熱発電所改修計画[フィリピン]

政策所管局課 有償資金協力課

評価年月日 平成 17 年 3 月

(1) 案件概要	
(イ) 目的	ティウィ地熱発電所の改修工事等を実施することによって、発電設備の効率改善、信頼性向上を図るとともに、ルソン系統における電力需給バランスの改善を図る。
(ロ) 手段	(a) 1号機～6号機におけるタービン系統、発電機系、制御関連、冷却塔等の改修 (b) 入札補助・施工管理等のコンサルティング・サービス
(ハ) 交換公文締結日	1994年11月7日
(ニ) 貸付契約締結日	1994年12月7日
(ホ) 供与限度額	70億5,600万円
(ヘ) 金利	3.00%
(ト) 償還期間(据置期間)	30(10)年
(チ) 借入人	フィリピン共和国政府
(リ) 事業実施機関	フィリピン国家電力公社
(2) 経緯・現状	電力部門改革法の制定(2001年)によるフィリピン政府の方針の再検討により着工が遅延したが、その後工事はほぼ完了している。
(3) 評価・今後の対応方針	事業の進捗を妨げていた要因は既に解決しており、フィリピン側には案件実施能力が引き続き認められる。事業対象地域における電力需要は増加していることから、貸付を継続し、早期に完了する。
(4) 参考資料	交換公文、国際協力銀行から提供された資料等(本案件の概要に関しては、海外経済協力基金年次報告書1995年版147ページ参照。)

## マクバン地熱発電所改修計画[フィリピン]

政策所管局課 有償資金協力課

評価年月日 平成 17 年 3 月

(1) 案件概要	
(イ) 目的	マクバン地熱発電所の改修工事等を実施することによって、発電設備の効率改善、信頼性向上を図るとともに、ルソン系統における電力需給バランスの改善を図る。
(ロ) 手段	(a) 1号機～6号機におけるタービン系統、発電機系統、制御関連、冷却塔等の改修 (b) コンサルティング・サービス
(ハ) 交換公文締結日	1994年11月7日
(ニ) 貸付契約締結日	1994年12月7日
(ホ) 供与限度額	66億3,000万円
(ヘ) 金利	3.00%
(ト) 償還期間(据置期間)	30(10)年
(チ) 借入人	フィリピン共和国政府
(リ) 事業実施機関	フィリピン国家電力公社
(2) 経緯・現状	電力部門改革法の制定(2001年)によるフィリピン政府の方針の再検討により着工が遅延したが、その後工事はほぼ完了している。
(3) 評価・今後の対応方針	事業の進捗を妨げていた要因は既に解決しており、フィリピン側には案件実施能力が引き続き認められる。事業対象地域における電力需要は増加していることから、貸付を継続し、早期に完了する。
(4) 参考資料	交換公文、国際協力銀行から提供された資料等(本案件の概要に関しては、海外経済協力基金年次報告書1995年版147ページ参照。)

## カラチ上水道改善計画[パキスタン]

政策所管局課 有償資金協力課

評価年月日 平成 17 年 3 月

1. 案件概要	
(イ)目的	カラチ市においては、急速な都市発展と人口増加により慢性的な給水不足と水質悪化が深刻化しているため、同市内に2カ所の浄水場等を建設することにより、水質向上を図る。
(ロ)手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>(a) 浄水場の拡張(2,500万ガロン/日)</li> <li>(b) 浄水場の新設(1億ガロン/日)</li> <li>(c) ポンプ場の新設</li> <li>(d) コンサルティング・サービス</li> </ul>
(ハ)交換公文締結日	1994年11月13日
(ニ)貸付契約締結日	1994年11月22日
(ホ)供与限度額	103億円
(ヘ)金利	2.60%
(ト)償還期間(据置期間)	30(10)年
(チ)借入人	パキスタン・イスラム共和国大統領
(リ)事業実施機関	カラチ上下水道局
(2)経緯・現状	干ばつの影響や調達手続の遅れ等により事業が遅延したが、その後工事はほぼ完了している。
(3)評価・今後の対応方針	事業の進捗を妨げていた障害は既に除去されており、パキスタン側には案件実施能力が引き続き認められる。カラチ市における水需要は引き続き逼迫しているため、貸付を継続し、早期に完了する。
(4)参考資料	交換公文、国際協力銀行から提供された資料等(本案件の概要に関しては、海外経済協力基金年次報告書1995年版145ページ参照。)

## アスンシオン送配電網整備計画[パラグアイ]

政策所管局課 有償資金協力課

評価年月日 平成 17 年 3 月

(1) 案件概要	
(イ) 目的	アスンシオン首都圏において急激に増加している電力需要に対応するため、送配電線、変電所、配電制御システム、電力保守用通信機器等を整備・導入することで、安定的な電力供給体制の確保を図る。
(ロ) 手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>(a) 変電所 6 カ所の建設</li> <li>(b) 送電線の建設</li> <li>(c) 配電線の建設</li> <li>(d) 配電制御システム及び電力保守用通信機器等の導入</li> <li>(e) コンサルティング・サービス</li> </ul>
(ハ) 交換公文締結日	1994 年 11 月 28 日
(ニ) 貸付契約締結日	1994 年 11 月 29 日
(ホ) 供与限度額	81 億円
(ヘ) 金利	3.00%
(ト) 償還期間(据置期間)	30(10)年
(チ) 借入人	パラグアイ共和国
(リ) 事業実施機関	国营電力公社(ANDE)
(2) 経緯・現状	詳細設計及び調達手続の遅れ等により、事業に遅延が生じたが、その後工事は順調に進んでいる。
(3) 評価・今後の対応方針	事業の進捗を妨げていた障害は既に除去されており、パラグアイ側には案件実施能力が引き続き認められる。アスンシオン首都圏における電力需要は引き続き逼迫しているため、本事業完了により期待される効果を早期に発現させるべく、貸付を継続する。
(4) 参考資料	交換公文、国際協力銀行から提供された資料等(本案件の概要に関しては、海外経済協力基金年次報告書1995年版160ページ参照。)

## ルヌン水力発電及び関連送電線建設計画(III) [インドネシア]

政策所管局課 有償資金協力課

評価年月日 平成 17 年 3 月

(1) 案件概要	
(イ) 目的	北スマトラ州トバ湖において82MWの水力発電所を建設することにより、同州の急増する電力需要に対処し、かつ経済振興及び生活水準の向上を図る。
(ロ) 手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>(a) アクセス道路、ベースキャンプ建設等</li> <li>(b) 土木工事</li> <li>(c) 水門工事</li> <li>(d) 発電関連設備</li> <li>(e) 送変電設備</li> <li>(f) コンサルティング・サービス</li> </ul>
(ハ) 交換公文締結日	1994年11月29日
(ニ) 貸付契約締結日	1994年11月29日
(ホ) 供与限度額	54億7,900万円
(ヘ) 金利	2.60%
(ト) 償還期間(据置期間)	30(10)年
(チ) 借入人	インドネシア共和国
(リ) 事業実施機関	国有電力企業
(2) 経緯・現状	トンネル工事中の予想外の出水に伴い、工事が一部中断し遅延が生じたが、現在、土木工事はほぼ完了している。
(3) 評価・今後の対応方針	事業の進捗を妨げていた障害は既に除去されており、インドネシア側には案件実施能力が引き続き認められる。事業対象地域においては引き続き電力需要の増大が見込まれるため、貸付を継続し、早期に完了する。
(4) 参考資料	交換公文、国際協力銀行から提供された資料等(本案件の概要に関しては、海外経済協力基金年次報告書1995年版139ページ参照。)

## ジャワ北幹線鉄道複線化計画[インドネシア]

政策所管局課 有償資金協力課

評価年月日 平成 17 年 3 月

(1) 案件概要	
(イ) 目的	ジャカルタとスラバヤを結ぶジャワ北幹線のうちチカンベック - ハウグリス間 5.4 km の複線化を実施し、列車本数を増加させるとともに、安全、高速かつ定時的な列車の運行を図る。
(ロ) 手段	(a) チカンベック - ハウグリス間 5.4 km の複線軌道の敷設 (b) コンサルティング・サービス
(ロ) 交換公文締結日	1994 年 11 月 29 日
(ハ) 貸付契約締結日	1994 年 11 月 29 日
(ニ) 供与限度額	72 億 3,400 万円
(ホ) 金利	2.60%
(ヘ) 償還期間(据置期間)	30(10) 年
(ト) 借入人	インドネシア共和国
(チ) 事業実施機関	運輸省陸運局
(2) 経緯・現状	調達手続の遅延が生じたが、その後順調に進み、工事は既に完了している。
(3) 評価・今後の対応方針	貸付を継続し、早期に完了する。
(4) 参考資料	交換公文、国際協力銀行から提供された資料等(本案件の概要に関しては、海外経済協力基金年次報告書 1995 年版 139 ページ参照。)

## デンパサール下水道整備計画[インドネシア]

政策所管局課 有償資金協力課

評価年月日 平成 17 年 3 月

(1) 案件概要	
(イ) 目的	バリ島の中心地であるデンパサール地区において、下水道設備を整備することにより、周辺海域の水質保全を図る。
(ロ) 手段	(a) 下水管等整備 (b) 下水処理場建設 (c) コンサルティング・サービス
(ロ) 交換公文締結日	1994 年 11 月 29 日
(ハ) 貸付契約締結日	1994 年 11 月 29 日
(ニ) 供与限度額	54 億円
(ホ) 金利	2.60%
(ヘ) 償還期間(据置期間)	30(10)年
(ト) 借入人	インドネシア共和国
(チ) 事業実施機関	公共事業省都市地方開発総局
(2) 経緯・現状	インドネシア側の予算手当に関する調整等で遅延が生じていたが、現在、既に工事に着手している。
(3) 評価・今後の対応方針	事業の進捗を妨げていた障害は既に除去されており、インドネシア側には案件実施能力が引き続き認められる。デンパサール地区等における衛生環境の改善や周辺海域の水質保全のニーズは引き続き高く、事業完了により期待される効果を早期に発現させるべく、貸付を継続する。
(4) 参考資料	交換公文、国際協力銀行から提供された資料等(本案件の概要に関しては、海外経済協力基金年次報告書1995年版140ページ参照。)